

# はじめに

私が学生や初期研修医だった頃「上級医の先生は何でも知っているのだろう」と思っていました。しかし、何年働いても毎日疑問が出てきます。他科の疾患となるとなおさらそうであり、特にコンサルトが必要な状況では何かしら疑問を抱えています。

そんな状況もあり、2019年1月にtwitterで次のような投稿をしました。

## 【各科の先生、研修医の先生】

他科へコンサルトするとき

- ・これはコンサルトしてよいのか？
- ・どこまで事前に検査すればよいのか？

と悩んだことはありませんか。逆にコンサルトされたとき

- ・なぜこの検査をしていないのか？
- ・余計な検査はせずもっと早くコンサルトすべき

と思ったことはありませんか。

これらを解消するため、各科の先生、研修医の先生からご意見を伺えればと考えています。少しでも興味がありましたらコメント、リツイートしていただければ幸いです。

投稿後、かなり多くの先生にコンサルトについての疑問点やご要望をコメントしていただきました。そして、コンサルトの難しさ・重要性を改めて認識しました。

現在ではSNSやwebサイトなどでコンサルトに関する有用な情報を目にすることが多くなりました。しかし、それらは個人の媒体であるため1つの科の情報であり、また時間とともに投稿内容が流れてしまいます。そのため、全科の情報を1つの媒体にまとめることは有用であり、本書を作成することになりました。

本書の作成にあたり、21科（総勢43名）の先生方にご執筆していただき、かなり実践的で深い内容の書籍となりました。

皆様の診療のお役に立てれば幸いです。

編集代表 佐藤 弘明